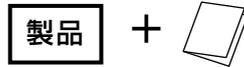


取扱説明書

MINI用2連メーター 52X-MN

この度はPIVOT製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この説明書はよくお読みいただき大切に保管してください。

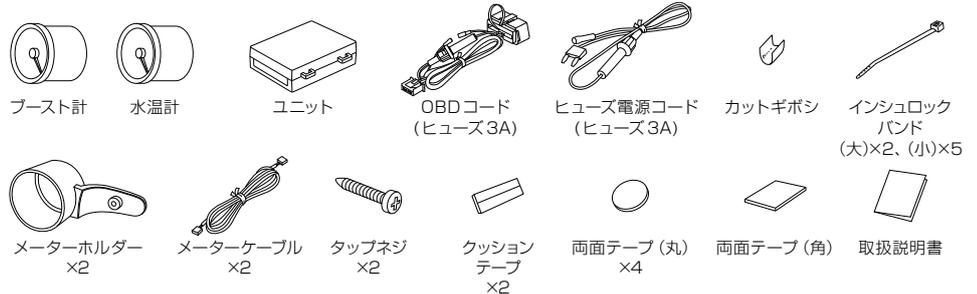
- 製品を他の人へお譲りする場合は、必ず取扱説明書(本書)をお付けください。



目次

セット内容・警告・注意 1
 特長 1
 各表示と用途 2
 各部の名称 2
 配線接続方法と固定方法 2~4
 基本操作方法 4
 故障かな?と思ったら 4

内容物をご確認ください



1. ECUが純正品と異なる場合やサブコンなどをご使用の場合、対応車でも適正表示しない場合があります。
2. 他社の故障診断コネクタを利用する製品との併用はできません。
3. 故障診断コネクタを利用するPIVOT製品との併用については、こちらをご確認ください。⇒ <http://pivotjp.com/obd/>
4. メーターホルダーは日光等で非常に熱くなることがありますので、火傷等には特に注意してください。

警告 下記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

- 換気の悪い場所で作業しない
排気ガス中毒や引火等で人体への危険があります。
- コードの被ふくを傷付けない
ショート・接触不良等による火災、通信不具合による電装部品・エンジン・車輪破損の危険があります。
- 運転中に操作をしない
運転中の製品操作や表示確認は事故の原因となりますので、安全に十分配慮してご使用ください。
- 製品の固定、配線処理は確実に
製品固定や配線処理は、運転の支障や接触不良とならない状態にしてください。

注意 下記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性と、製品その他に物質的損害が発生する可能性があります。

- DC12V車で使用
本製品はDC12V車用です。それ以外の電圧のクルマには装着できません。
- 装着直後は製品に強い力を加えない
両面テープで製品を固定した直後は、はげやすくなっています。ご注意ください。
- 薬品類は使用しない
ゴミ・汚れが付着した場合、やわらかい布などで丁寧にふき取ってください。アルコール・シンナー・ベンジンなどの薬品類は使用しないでください。
- 高温となる場所や水のかかる場所には装着しない
故障の原因となります。
- ネジ・部品は元の状態に戻す ●まぶしく感じる場所には装着しない
- 加工・分解および改造をしない

特長

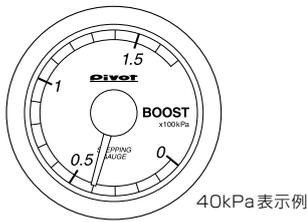
故障診断コネクタに差し込むだけでMINI専用のCAN通信を解析し、ブースト・水温を表示できるメーターです。(対応車以外は不可)

- ボン付け装着 故障診断コネクタとヒューズボックスへの簡単装着。
- 専用ホルダー 密着性が高く軽量のMINI専用のメーターホルダーで、振動による揺れの無い装着が可能。
- LEDイルミ 純正と同色のオレンジ照明。(メーター作動中は常時点灯)

各表示と用途

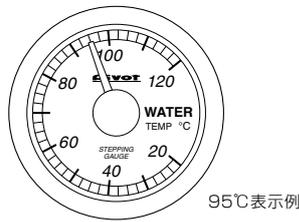
ブースト計 (絶対圧表示)

- ▶表示 0~154kPa
- ▶用途 ブーストチェック など



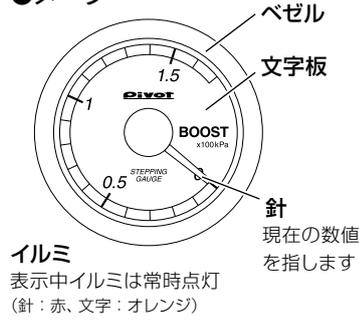
水温計

- ▶表示 20℃~120℃
- ▶用途 オーバーヒート
暖機チェック など

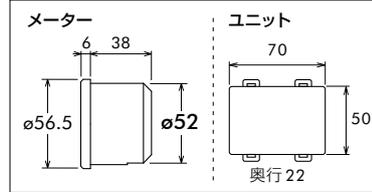


各部の名称

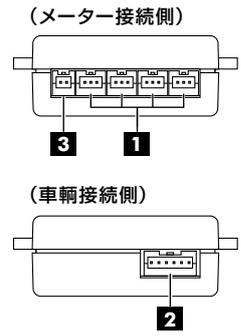
●メーター



サイズ [単位:mm]



●ユニット



- 1 メーター用コネクタ
メーターケーブルを接続
- 2 電源用コネクタ
OBDコードを接続
- 3 予備
使用しません

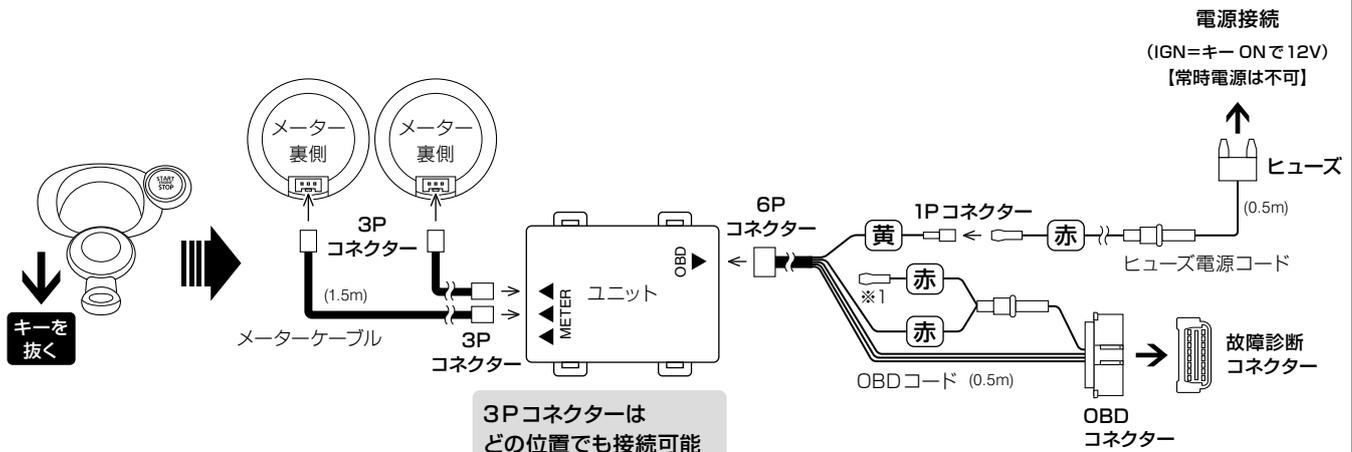
オープニングデモ

オープニングデモの針の動きは最低値側に小刻みに複数回動き、その後最大値を指し、各表示項目に移行します。

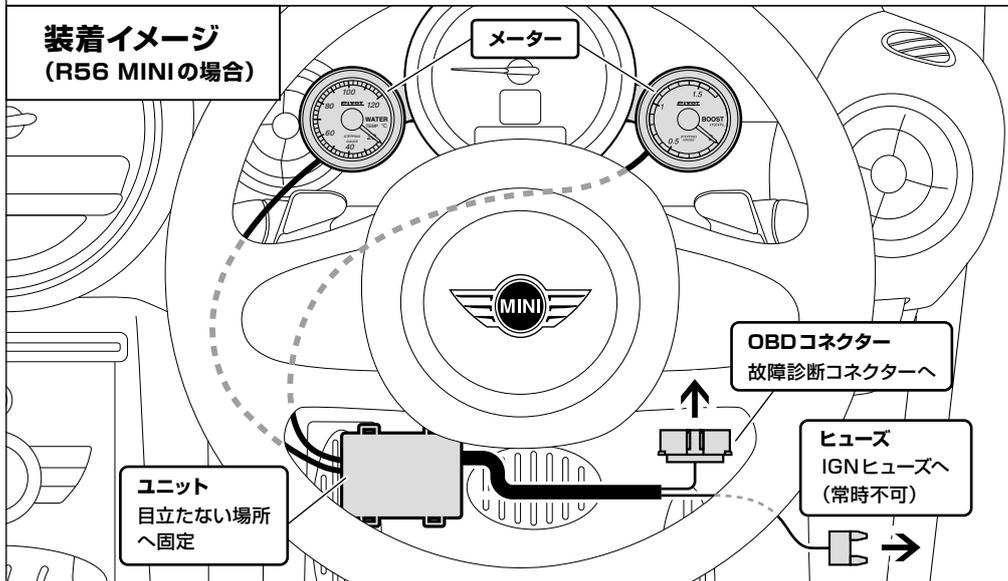
配線接続方法と固定方法

基本配線図

各配線はキーをOFFにし、抜いた状態で行ってください。



装着イメージ (R56 MINIの場合)



※1
OBDコードのヒューズから
出ている1Pコネクタの赤
コードは使用しません。

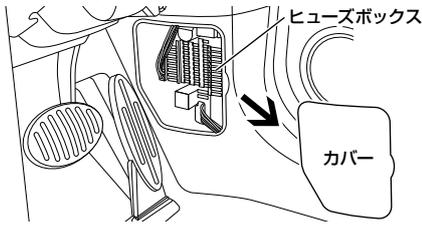
1

電源接続を行う

下記はBMW MINI クーパー S SV16でヒューズボックスへ配線する場合の一例です。その他の車種で不明な場合はディーラー等でご確認ください。

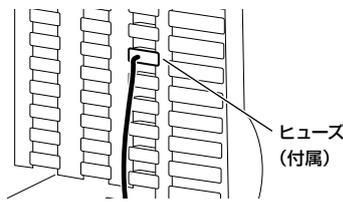
① ヒューズボックスのカバーを外す

運転席右横のカバーをドライバーなどを使って外します。

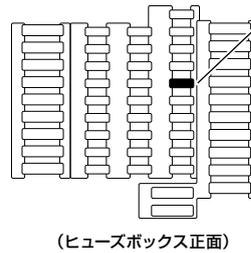


② 指定ヒューズへ接続する

ヒューズボックスのIGN供給できるヒューズ(キー ONで12V、常時電源は不可)と付属のヒューズ電源コードのヒューズを入れ替えます。



【参考1】指定ヒューズ位置例



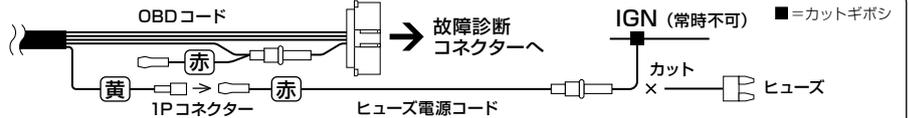
BMW MINI クーパー S SV16の場合 (右ハンドル車・2010年モデル)

位置=左から4列目、上から5段目
番号=32または34
容量=7.5A

※7.5Aのミニヒューズ以外から電源を取りたい場合は、市販のヒューズ電源をご使用ください。



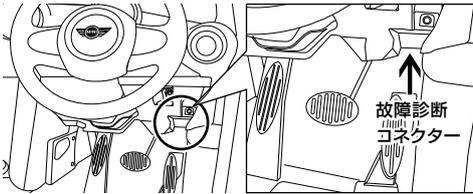
ヒューズボックスで電源が取れない、もしくは取りたくない場合は、IGN (キースイッチ ONで12V) へ直接配線を行ってください。



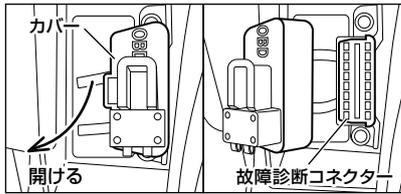
2

OBDコネクタを接続する

① 診断コネクタ位置を確認する

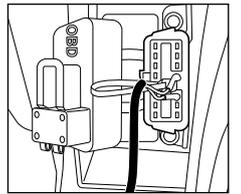


② カバーを開ける



③ OBDコネクタを根元まで差し込む

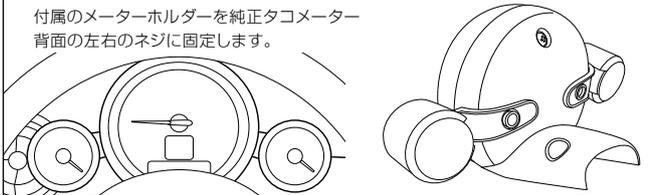
OBDコードのOBDコネクタを故障診断コネクタの根元まで差し込みます。



3

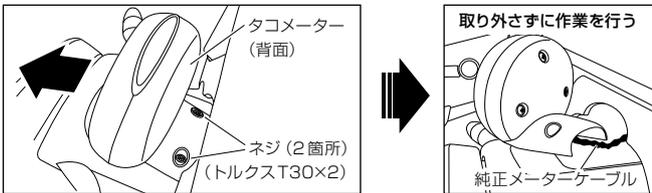
メーターとメーターホルダーを固定する

付属のメーターホルダーを純正タコメーター背面の左右のネジに固定します。



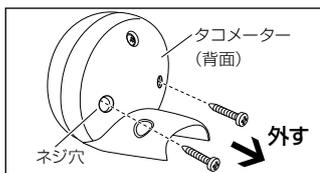
① 純正タコメーターを外す

純正タコメーター背面の台座の部分にある2箇所のネジ(トルクスT30×2)を外し、メーターを手前に引き出します。(純正タコメーターの配線はステアリングコラムカバー内までつながっているため取り外せません。配線を引き出したままで作業を行ってください。)
※外したネジはなくさないようにしてください。



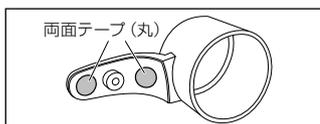
② 純正タコメーター背面のネジを外す

純正タコメーター背面のネジ穴にあるネジを外します。
※外したネジは大切に保管してください。



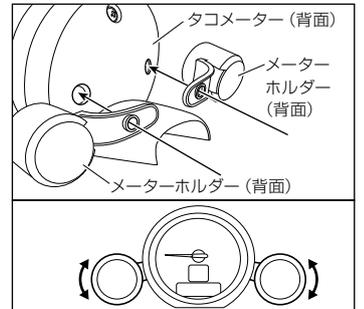
③ メーターホルダーのステー部に両面テープ(丸)を貼る

付属の両面テープ(丸)を、右図のように2箇所張り付けてください。



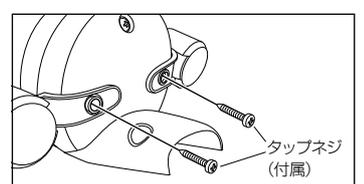
④ メーターホルダーを仮固定する

純正タコメーター背面のネジ穴とメーターホルダーのネジ穴を合わせ、両面テープで仮固定します。
※強く押さえつけると両面テープがはがれにくくなりますのでご注意ください。
※左右の位置が同じになるよう微調整してください。



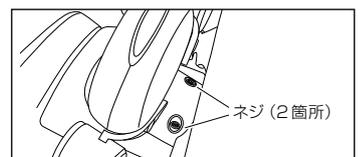
⑤ メーターホルダーをネジで固定する

付属のタップネジを使用して固定します。



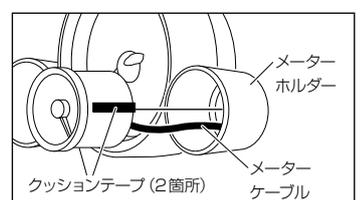
⑥ タコメーターを元の位置に戻す

純正タコメーターを外した手順と逆の手順で元の位置に戻します。



⑦ メーターホルダーにメーターを固定する

付属のクッションテープをメーター側面に2箇所貼り付けます。メーターホルダー裏の穴からメーターケーブルを出し、メーター裏の5Pコネクタに差し込んだら、角度を決めてメーターを押し込みホルダーへ固定してください。



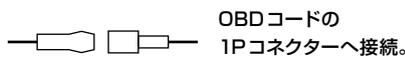
4 ユニットとケーブルを接続・固定する

メーターケーブルとOBDコードをユニットと接続

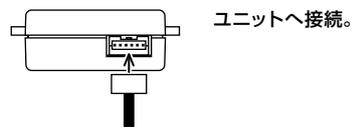
●メーターケーブル



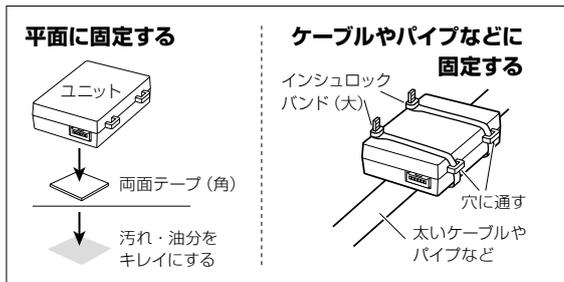
●ヒューズ電源コード



●OBDコード



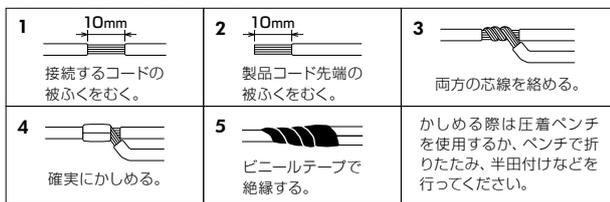
ユニットの固定 水のかからない場所に固定してください。



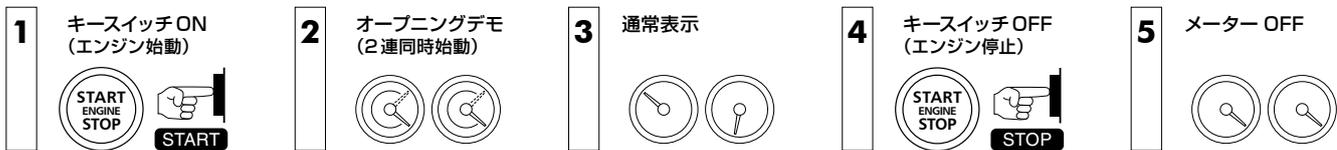
【参考1】OBDコネクターの取扱注意



【参考2】カットギボシの使い方



基本操作方法



故障かな?と思ったら

症状	原因	対策
メーターが作動しない。	メーターケーブル、OBDコード、ヒューズ電源コードの接続不良。	メーターケーブル、OBDコード、ヒューズ電源コードの接続状態を確認する。
	電源を直接配線した場合の(赤)コードの配線間違いか接触不良。	
	対応外の車種に取り付けている。	対応車種表をご確認ください。
ブースト計の針が他のメーター(相対圧)から多少マイナスにズれる。	車輻側センサー(絶対圧)の特性で標高等に応じ1目盛程度ズれますが故障ではありません。	

※弊社製品には工業所有権出願中、または取得済みが含まれております。
 ※意匠、制御特性、回路、回路配置などの類似品には、近年不正競争防止法等の法的処置が厳しく適用される事例があります。
 ※PIVOTマーク無断使用や説明書の無断転載は固くお断りします。